

早川よしゆき 市政報告

第52号

9月定例会市議会 トップバッターで登壇

9月議会は、枝廣市長
2期目の最初の議会とな
り、22人の議員が登壇し、
私はトップバッターとし
て質問しました。

質問 感染コロナ禍拡大
防止について。冬場に向
けたインフルエンザとの
同時流行で医療現場が混
乱するのを避けるため、
市はインフルの予防接種
を進めるが、その具体的
な取り組みは。

答弁 流行前に予防接種



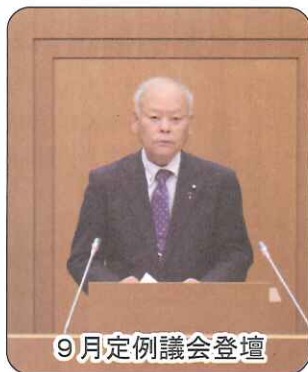
を受けていただくよう特
に重症化しやすい高齢者
に勧めている。幼児等に
対する接種料の補助額を
一回800円から160
0円に引き上げ、対象者
も中学3年までに拡大し
た。保育所や小中学校の
協力を得て、すべての保
護者にチラシを配るなど
して周知にも努め、接種
率を高めたい。

自分の主張 重症化しや
すい高齢者が心配である
こと。同時流行
による医療現場
の混乱を避けた
い。

質問 福山市は2025
年、世界ばら会議開催に
向けてMICE事業を展
開しようとしています。
そのMICE事業の具体
の取り組みは。

地元の新聞が私の質問
を大きく報道してくれま
したので、それを掲載し
ます。(左記参照)

(説明) MICEとは
Meeting (会議・研修)、
Incentive travel (報奨旅
行)、Convention (国際
会議・学会)、Exhibition
(展示会・イベント)の
頭文字をとりMICE。
つまり、MICEとは
「たくさんの人と情報が
一堂に集まる行事」。こ
れらを開催することで
「大きな経済効果や、新
たなイノベーション(技
術革新)を、生む可能性
を秘めているという事。



9月定例会議会登壇

質問 車座トークに代わ
り、モニター制度を創設
することのこと。そのねら
いと実施方法は。

答弁 「車座トーク」は
2年3カ月、時間がかか
った。また出席者に年齢
的にも偏りがあった。

「市政モニター制度」
は市内在住の幅広い世代
の様々な立場の方々から
市政の重要政策や市政運
営についての考えを聴き、
市民に身近な市政を実現
しようとする制度で、ま
ず、300人〜500人

程度の皆様にインターネ
ットを活用し、アンケー
トを行います。

福山市では平成30年7
月の西日本豪雨により、
市内全域で浸水災害が発
生しました。加茂町から
御幸町を流れる加茂川の
川沿いにおいても多大な
被害がありました。



樹木が繁茂する加茂川(御幸町)

2020年(令和2年)9月15日 火曜日

福山市議会市長答弁

枝廣市長は「マイス事
業について、多くの
業について、多くの
のづくり企業が集積し
インターネットとする

マイス推進へ協議会

協議所などと 年内立ち上げ 産業分野に照準

9月定例会福山市議会は14日、本会議
を再開。一般質問に入り、5氏が市政
全般について話した。枝廣直幹市長
は会議やイベントなどを誘致して地域
活性化につなげる「MICE(マイス)」、
事業について、年内に市や福山観光コ
ンベンション協会、福山商工会議所な
どで構成する推進協議会を立ち上げ、
主催団体との連携や受け入れ態勢の強
化に取り組んでいくことを明らかにし
た。早川佳行氏(水曜会)への答弁。

と説明。一つの会場で
開催するのではなく、
福山城(丸之内)やふ
くやま美術館(西町)やふ
など魅力ある施設が
集まるエリアも会場と
し「福山にしか創出で
きない特別な空間で
入札準備などを行って
いくという。

また、2025年世
界パラ大会福山大会の
成功に向け枝廣市長は
「福山城築城400年
記念事業(22年)など
一つ一つのマイスで
ウハウを蓄積させ、福
山版マイスを確立して
いく」と述べた。
この日はほかに榊原
則男、連石武則、石田
実、羽田俊介(いずれ
も水曜会)の各氏も登
壇した。質問は15日
もある。(内田博文)

- 早川佳行氏
- 榊原則男氏
- 連石武則氏
- 石田実氏
- 羽田俊介氏

発行者

福山市議会 水曜会
市議会議員 早川 佳行

住所 福山市加茂町下加茂 1901
電話 (084)972-3195
事務所 福山市加茂町上加茂 265
電話 (084)972-8999
FAX (084)972-2093

早川佳行の
主な役職
67才

福山市議会議員

七期目

民生福祉委員会委員
地方創生調査特別委員会委員
他

2年経過し、改めてこ
の8月に加茂川流域を視
察しました。一部、平成
30年度、平成31年度にわ
たり約400m程川底の
体積土砂を撤去している
ところは見受けられま
すが、工事の進捗が様々
の要因で遅れていると判
断し、改めて加茂川の体
積土砂を撤去するよう両
町内会長に呼びかけ、工
事の早期着手の要望書を
提出しているところです。

水曜会

第52号

令和2(2020)年10月発行

発行者 福山市議会 水曜会
住所 〒720-8501
福山市東桜町3番5号
電話 084-928-1123
FAX 084-920-1104



九月定例市議会

本会議は九月三日開
会。新型コロナウイルス
感染症対策事業
など16億4477万
円余の一般会計補正
予算案など、18議案
を賛成多数で可決し
ました。

新型コロナウイルス
感染症対策に、7億
5400万円

一般会計の主なもので
は、新型コロナウイルス
感染症対策として、出生



福山市議会—水曜会

9月補正予算額

一般会計 16億4,400万円
特別会計 —
企業会計 —
(全会計) 16億4,400万円

その他では、公共事業
の追加に伴うもので、交
通安全整備費や、道路・
水路など維持補修費の6

児特別定額給付金事業や
キャッシュレス決済によ
る消費喚起の事業などに
7億5400万円。7月
の大雨による災害関連経
費に2900万円。安
心・安全実現のため、補
助費などに1億7900
万円。教育環境の充実に
2300万円です。



億3400万円です。
福山市民病院の増改
築事業に、2億27
00万円の債務負担
行為を計上

小児救急医療拠点病院の
指定を目指します。

9月一般会計補正予算

新型コロナウイルス感染症対策 (出生児特別定額給付金給付事業費・商品等プレ ミアムクーポン発行事業費・飲食プレミアムク ーポン発行事業費)	7億5,400万円
大雨による災害関連経費 (土木施設・農林水産施設・土地改良区施設維持 管理費補助)	2,950万円
安心・安全の実現 (特別養護老人ホーム等施設建設費補助・小規模 福祉施設等整備費補助・公園管理費・配偶者暴 力相談等支援事業費補助・水防対策用資材費)	1億7,900万円
教育環境の充実 (学校図書館環境整備事業)	2,300万円
公共事業等の追加に伴うもの (国庫補助事業・維持補修)	5億1,300万円
コミュニティーの活性化 (地域集会所施設建築費補助他(11か所))	
寄付金対応	250万円
制度上補正必要とするもの (社会福祉費国庫負担金等返還金・予防接種費)	1億2,060万円
その他 (産学官連携調査研究事業費・予備費)	1,330万円

市民病院の本館建て替
えによる小児救急機能強
化に基本設計費2億27
00万円が計上されまし
た。令和三年度から工事
に着手します。
現在の本館は昭和五十
二年に建設され、施設の
手狭さと老朽化が進んで
いました。
このため、本館の建て
替えにあわせ、小児科分
野の充実を目指します。
また、令和三年度には

「子ども未来館」
実現に向け、
調査費700万円

我が会派が、提案して
いた子ども達の未来を創
造する施設の核となる子
ども未来館建設に向け、
調査研究費700万円が
計上されました。

子ども達の自然科学へ
の好奇心を掻き立て、ホ
ンモノのものづくり技術
や最新のテクノロジを
楽しく体験出来る学びの
場です。
引き続き、早期実現に
向け取り組みます。

水曜会の賛成討論

本補正予算は、新型コロナ
ウイルス感染症対策とし
て、出生時特別定額給付金
給付ほか、キャッシュレス
決済における消費喚起キャ
ンペーンの拡充をはじめ七
月の大雨災害の復旧事業、
子ども未来館創設のための
調査研究などであり、本市
の「市民生活」と「経済活
動」を守るためのロードマ
ップ第2弾として市民の生
活支援に有効なものであり
早期執行を求め、賛成しま
した。

一般質問に、水曜会か
ら6人が登壇
枝廣市長を質す

九月議会で水曜会の一般質問
者とな質問項目は、左記のと
おりです。(発言順)
○早川佳行
MICE事業について
○榊原則男
福山市民病院について
○連石武則
浸水対策について
○石田 実
保育施設について
○羽田俊介
子ども発達支援センターにつ
いて
○木村素子
子ども未来館について
詳細は、十一月一日発行の
「福山市議会だより」に掲載し
ます。